

2008年1月18日

ワークショップ No.27 参加者各位

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 長谷部 伸治  
ワークショップ No.27 代表者  
京都大学大学院工学研究科准教授  
加納 学

プロセスシステム工学第143委員会  
ワークショップ No.27・第5回研究会開催通知  
(<http://ws27.pse143.org/>)

1. 日時：2008年3月3日（月）13：30～17：30
2. 場所：京大会館 101号室  
（京都市左京区吉田河原町 15-9）  
（詳細 <http://www.kyodaikaikan.jp/index.shtml>）  
JR京都駅から市バスで30分程度。または地下鉄烏丸線で丸太町駅まで行き、そこからタクシーかバスを利用されるのが便利です。
3. 内容：
  - 13:30-15:30 講演：「実用的なプロセス制御技法」  
小河 守正 氏（山武）  
これまでプロセス制御に取り組んできた経験から、実用上の有用性を確信している技術について、主に PID 制御を中心に詳細に解説する。本ワークショップのメンバー、特に企業のプロセス制御技術者に、ここまでは現有の技法でも自分達で十分にやれるという実用限界を示す。
  - 15:30-16:00 議論・休憩
  - 16:00-17:00 講演：「フィードバック制御下での操業データからの PID パラメータ調整法： IFT と VRFT の紹介」  
田坂 謙一 氏（京都大学）、加納 学（京都大学）  
対象プロセスのモデルを構築することなく、フィードバック制御下で得られる操業データから直接的に PID パラメータを調整する方法として、Iterative Feedback Tuning (IFT) や Virtual Reference Feedback Tuning (VRFT) が提案されている。本講演では、IFT と VRFT について紹介すると共に、その有効性について検討した結果を報告する。
  - 17:00-17:30 その他
    - ・ VM モデル構築について
    - ・次回研究会について

[その他]

- ・ 準備の都合がありますので、2月18日（月）までにご出欠についてご連絡下さい。

[出欠連絡先]

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 加納 学  
E-mail: [manabu@cheme.kyoto-u.ac.jp](mailto:manabu@cheme.kyoto-u.ac.jp)